

邑楽町農地利用最適化推進委員の推薦・応募状況(中間公表)

No.	推薦・応募の別		推薦・応募の区域	候補者						推薦をする者			推薦・応募の理由	
	推薦	応募		氏名	職業	年齢	性別	経歴	営農類型	農業経営状況	法人又は団体			個人
											名称	代表者		
1	○		第1区域	横田 帝司	農業	77	男	農業委員、現農地利用最適化推進委員	野菜	経営面積 4,600㎡ 農業従事日数 80日/年間			蟹和 孝一	人望が厚く、経験豊富で適任である。
2	○		第2区域	大塚 澄生	農業	52	男	現農地利用最適化推進委員。農業に携わり13年、時には雇用者を使い、家族3人(両親)で農業を営んでいる。	米麦、白菜、ナス、ニガウリ	経営面積 70,000㎡ 農業従事日数 300日/年間			宮澤 孝男	被推薦者は6区十三坊塚の伝統ある専業農家です。町認定農家のご長男であり、後継者として農業経営に従事しております。農業経営者の高齢化が進む中、若手の一人として将来有望とされる人材であります。従って、第2区域の農地利用最適化推進委員として適任であり推薦致します。
3	○		第4区域	板橋 盛雄	会社員	60	男	高校卒業後にアキレス(株)に勤務し、現在に至る。	米、野菜	経営面積 10,000㎡ 農業従事日数 70日/年間			茂木 俊男	元から地元に住居し、会社勤めの傍ら農業に従事し、地元の農業経営の中心的存在であります。人柄も温厚で周りとの折り合いも良好であり、本件に適任であると思われれます。
4	○		第7区域	田口 光一	会社員	61	男	(有)みねざし 代表取締役	米麦	経営面積 15,000㎡ 農業従事日数 60日/年間			吉田 和明	1.応募資格に該当しています。 2.農地等の利用に対して最適化への推進活動をする為の資質を有しています。 3.事象を大局的に捉えた考えと行動が出来る人柄です。
5	○		第8区域	山崎 昭弘	農業	64	男	現農地利用最適化推進委員。会社員として25年程勤務した後、約15年、米麦中心に農業経営をしている。	米麦	経営面積 30,000㎡ 農業従事日数 180日/年間			金子 万喜夫	3年間邑楽町の農地利用最適化推進委員として活動し、農業の発展向上、活性化に努めた。また地域の共栄共存を、和を以て成すため尽力されている。住谷崎、洪沼での協議の結果、農事組合法人洪沼の理事である山崎昭弘氏を推薦致します。
6	○		第9区域	大野 敏泰	農業	69	男	昭和44年3月、県立大泉高等学校卒業。同年4月荻原鉄工(株)入社。平成23年3月、同社定年退職。同年4月、農事支部長、待矢場総代を歴任し、現在に至る。	米	経営面積 15,737㎡ 農業従事日数 30日/年間			木村 正男	待矢場総代を1期(4年)経験しており、地域農業の現状や農家情報にも精通している。農地利用最適化推進委員として適任の人材です。
7	○		第10区域	細谷 雅敏	農業	67	男	昭和45年3月 県立大泉高等学校卒業後、同年4月より就農。 平成21年4月～ 坪谷・八丁地区集落営農生産組合組合長 平成26年7月～ 邑楽町農業委員 平成28年12月～ 篠塚農事組合法人を設立。理事就任。 平成29年7月～ 農地利用最適化推進委員	米麦、白菜、ニガウリ	経営面積 40,232㎡ 農業従事日数 300日/年間			細谷 文夫	長く農業に従事している。地域への奉仕の精神に富み、何事にも協力的で努力家、地区住民の人望が厚い。農業委員の経験があり、現在は農地利用最適化推進委員として活動を続けており、地域の農業の現状や農家情報にも精通している。農地の集積や耕作放棄地の発生防止・解消など、農地等の利用の最適化の推進に関し、適任の人材です。

8	○	第11区域	酒本 富夫	農業	63	男	太田市立商業高校、立正大学経営学科卒。平成29年3月、邑楽館林農業協同組合を定年退職。現在は農業を経営。	米	経営面積 24,250㎡ 農業従事日数 100日/年間			渡辺 修司	大学卒業後、農業協同組合に38年勤務し、農業、農業経営に精通している。
9	○	第12区域	小澤 豊治	農業	73	男	現農地利用最適化推進委員	米麦、白菜	経営面積 51,180㎡ 農業従事日数 320日/年間			新井 孝幸	温厚で責任感が強く、積極的に地域活動に取り組み、地域からの信望が厚い。
10	○	第13区域	中村 紀雄	農業	68	男	2012年 邑楽町役場退職、その後農業に従事し現在に至る。 2019年 認定農業者となる	米麦、野菜	経営面積 24,461㎡ 農業従事日数 180日/年間			矢島 利治	役所を定年退職後、農業を行いながら、地域の遊休農地発生防止等、農業振興に向け中心となって活動している。地域に精通しており、地元農業者からも信頼が厚く、人格・識見・責任感も高く、農地利用最適化推進委員としてふさわしい人材である。
11	○	第14区域	松村 静雄	農業	71	男	平成25年4月から平成29年3月まで第29区長。現農地利用最適化推進委員。	米麦	経営面積 10,000㎡ 農業従事日数 250日/年間			栗原 武	現在「江原新田子々ヶ崎地区田圃を守る会」会長。また、現農地利用最適化推進委員であり職務に精通しているため。